



2007年6月26日

各位

メディシノバ・インク  
代表取締役社長兼 CEO  
岩城 裕一  
コード番号： 4875 大証ヘラクレス  
問合わせ先： 東京事務所代表 副社長  
岡島 正恒  
電話番号： 03-3519-5010  
E-mail： [info@medicinova.com](mailto:info@medicinova.com)

### 開発プログラムに関する新方針決定のお知らせ

2007年6月26日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ・インク（米国カリフォルニア州サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一）は、今日までに得られております臨床試験の結果と市場機会の検証に基づいて、当面はMN-221（喘息の急性発作治療薬）とMN-166（多発性硬化症治療薬）を中心とした現存のパイプラインの開発に当社の経営資源を集中することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、MN-221 が、救急医療施設において、喘息の急性発作に対する新しい標準療法となる可能性があるものと期待しております。進行中のMN-221 のフェーズ 2a 臨床試験結果は、2007 年第 4 四半期中に得られる予定です。MN-166 は多発性硬化症の適応取得を目指す経口治療薬です。当社は、297 名の再発性多発性硬化症患者を対象に、プラセボ群を対照として、多施設・無作為二重盲検比較試験により、2 年間のフェーズ 2 臨床試験を行っております。当社は、2007 年 3 月、その最初の 1 年間におけるポジティブな傾向と安全性が確認できたことを発表いたしました。

当面は MN-221 及び MN-166 を中心として経営資源を集中し、その他の開発プログラムについては、商品化を着実に進めるために提携関係の構築を模索しながら、資産価値を最大化することを目的とする開発に資本の投下を行ってまいります。当社は、こうした資源の再分配によって、今後 12 ヶ月間にかかなりの現金資産の節約が可能となるものと予想しております。なお、本方針の実施が業績予想に与える影響につきましては現在精査中であり、判明し次第速やかにお知らせいたします。

以上

メディシノバ・インクは、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息、多発性硬化症、喘息急性発作、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、不眠症、切迫早産、尿失禁および血栓症など、多様な疾患の治療を目的とする臨床段階の化合物が揃っております。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバ・インクの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市スウィート 950、ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法(The Private Securities Litigation Reform Act of 1995)に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述などが含まれます。これらの記述は、当社の経営陣がその時の状況下において合理的であると判断して立てた前提に基づくものです。このような記述は、臨床試験の結果、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、実際の当社の業績は「将来の見通しに関する記述」に表現される、あるいは、示唆されるものと大きく異なることがあります。

---